



高校生の皆さん 保護者の皆さん



日本の健康保険制度は、病気やけがをした場合でも安心して病院等を受診できる仕組みになっています。しかし、医療費は年々増加しており、限られた財源を有効活用するためにも、**皆さまのご理解とご協力が不可欠です。**

日本の医療を守る

子供や孫世代の未来のために

私たちにもできる

健康第一

ジェネリック

医療費の仕組み

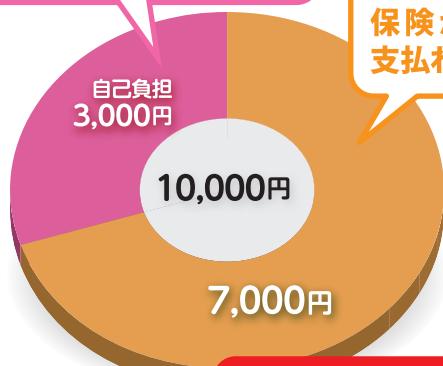
医療費は、**7割を健康保険で負担**、残る**3割を自身で負担**する仕組みとなっています。

《例》病院で診療を受け、10,000円の医療費がかかった場合

3割が自己負担となります。

一部自治体では福祉医療費助成制度などにより、各自治体から病院へ支払われます。

7割は皆さまが加入している健康保険から病院へ支払われます。



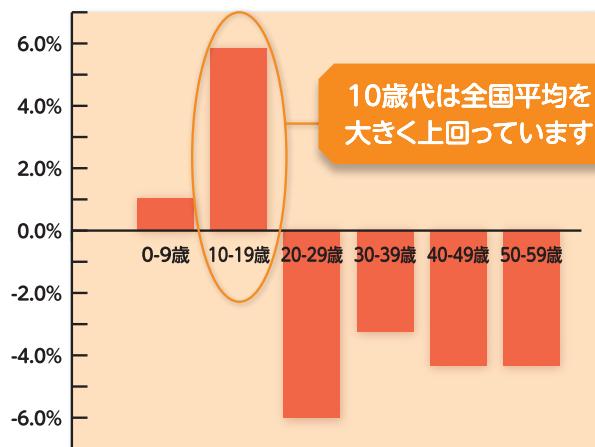
皆さまが納めた**保険料**から支払われています。

このまま医療費が増え続けると…

- 今後、**健康保険制度の維持が難しくなる**ことが考えられます。
- 今よりも**健康保険料負担が上昇する可能性**があります。

1人あたり医療費の全国との差

<協会けんぽ岐阜支部/令和元年度(外来)>



いま、私たちにできることは? (裏面)





自分ため、家族ため、年に1度は 健診をうけましょう

● 健診のねらい

糖尿病や高血圧は自覚症状のないまま進行し、放置すると脳卒中や心臓病の原因となります。健診により病気の兆候を早期に発見し、重症化を防ぐことができます。

早期発見・早期治療により、治療期間の短縮や医療費の節約にもつながります。

● 「特定健診」ご存じですか？

会社員の方は職場で健診を受けますが、ご家族や自営業の方（40歳～74歳）は、**健康保険から健診費用の補助がある「特定健診」**を受けることができます。

詳しくは保険証に記載されている「保険者」にお尋ねください。



医療機関・薬局の受診などにあたって

すでに8割の方が選んでいます

● ジェネリック医薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品は、新薬と同等の有効成分・効能があると厚生労働省から認められている安価なお薬です。

また、サイズや形・味が改良されており、飲みやすい工夫がされているものもあります。



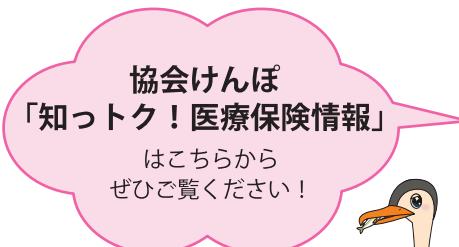
希望される場合は、医師や薬剤師にご相談ください。

● 休日や夜間の受診を見直しましょう

休日や夜間に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者さんを受け入れるためのものです。

休日や夜間に受診しようとする際には、平日の診療時間内に受診することができないのか、もう一度考えてみましょう。

休日・夜間の受診には「割増料金」が加算されます。



協会けんぽ
岐阜支部
マスコットキャラクター
ルージー

お一人おひとりのご協力を願いいたします

みんな、「健康経営」って知ってる？

健康経営とは…企業が従業員の健康を重要視し、積極的に従業員の健康づくりに取り組むこと

いま「健康経営」に力をいれる企業が増えており、協会けんぽ岐阜支部では、すぐれた取り組みをしている企業を「ぎふ健康経営認定事業所」として認定しています。

経済産業省・岐阜県・岐阜労働局も“従業員の健康づくりに力を入れている会社”を応援しています。



ぎふ健康経営
認定事業所



「ぎふ健康経営認定事業所」一覧はコチラ▲